

地域資源利用学特論演習 (2 単位)

担当者氏名 三原真智人

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

流域における土壌・水環境の修復保全対策について習得するとともに、地域における土地資源、水資源、生物資源などの地域資源を有効かつ持続的に利用する手立てについて学ぶとともに修得することを到達目標とする。この科目は、必要に応じてバイリンガル（日本語と英語）で実施する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

地域資源利用 修復保全技術 有機物利用 土壌保全
水環境保全

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	持続可能な開発について（第 1～3 週）	持続可能な開発のコンセプトを理解する	配布する資料を熟読しておくこと。 また、課された問題に取り組むとともに復習を行う。
2	住民参加について（第 4～6 週）	住民参加による地域資源の管理・利用方法について習得する	配布する資料を熟読しておくこと。 また、課された問題に取り組むとともに復習を行う。
3	地域資源利用について（第 7～11 週）	水資源や土地資源のみならず生物資源も含めて地域資源と捉えて、これらの地域資源の持続可能な利用を進める上での課題を整理し理解を深める	配布する資料を熟読しておくこと。 また、課された問題に取り組むとともに復習を行う。
4	修復保全技術 について（第 12～14 週）	地域資源の持続可能な利用を進める上で必要となる土壌・水環境の修復保全技術について習得する	配布する資料を熟読しておくこと。 また、課された問題に取り組むとともに復習を行う。
5	総括（第 15 週）	総括	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

Participatory Strategy on Soil & Water Conservation / M.Mihara and E.Yamaji / ERECON

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

レポート 70%、小テスト 30%で評価する

◆オフィスアワー

授業日の 18:00 から 19:00

◆その他受講上の注意事項

関数電卓、英和辞書、配布された資料等を毎回の授業に持参すること